

習志野市文化振興計画実施状況調査表（R 5）

A：実施予定事項が概ねできた（80～100％） B：実施予定事項が一部できた（21～79％） C：実施予定事項が全くできなかった（0～20％）

令和6年度第1回習志野市文化財審議会会議資料
社会教育課 第6報告(3) その他_資料⑤

方向性	施策	小施策	取り組み内容	担当部担当課	令和5年度 実施状況 個別判定	[令和5年度] A又はBをつけた場合は、実施状況を可能な限り具体的数値も入れて記載してください。 Cをつけた場合は実施できなかった理由などを記載してください。	事業実施における課題点や 令和6年度以降の実施予定
文化に触れる機会 の提供	誰もが文化に触れ合い、 創出し合う機会の提供	（１）誰もが文化芸術活動に親しむことができる場や環境づくり	1.夜間開館等を利用した講座等の実施	生涯学習部公民館	A(80～100%)	広く市民が参加しやすいよう、夜間や土日を利用して42の講座・行事等を開催し、2,339人が参加した。	令和6年度以降も引き続き、夜間や土日・祝日の講座等の実施に努める。
				生涯学習部図書館	A(80～100%)	・市立図書館で土日に開催した講座は36講座、計717人が参加した。	引き続き市民の参加しやすい日程で講座を開催するとともに、LINE等を活用しより効果的な広報に取り組む。
			2.利用しやすい公民館の施設予約の実施・検討	生涯学習部公民館	A(80～100%)	指定管理者制度導入の公民館において、利用者アンケートの結果を確認し、施設予約に関する要望の状況を把握した。 公民館の施設予約について検討を実施した。	利用者アンケートの結果を踏まえ、他市の事例を調査・研究する。 なお、公民館の施設予約について、中央公民館以外の公民館諸室のインターネット予約の実施を検討する。

習志野市文化振興計画実施状況調査表（R 5）

A：実施予定事項が概ねできた（80～100％） B：実施予定事項が一部できた（21～79％） C：実施予定事項が全くできなかった（0～20％）

令和6年度第1回習志野市文化財審議会会議資料
社会教育課 第6報告(3) その他_資料⑤

方向性	施策	小施策	取り組み内容	担当部担当課	令和5年度 実施状況 個別判定	[令和5年度] A又はBをつけた場合は、実施状況を可能な限り具体的数値も入れて記載してください。 Cをつけた場合は実施できなかった理由などを記載してください。	事業実施における課題点や 令和6年度以降の実施予定
文化に触れる機会 の提供	誰もが文化に 触れ合い、創出し 合う機会の提供	(1)誰もが文化 芸術活動に親しむ ことができる場や 環境づくり	3.高齢者を対象とする 講座や事業での文化 芸術に親しむ内容の 充実	健康福祉部高齢者支援課	A(80～100%)	・あじさいクラブ 当初予定通り以下の3事業を実施した。 「芸能・カラオケ大会」 【開催日】7月7日 【開催場所】習志野市民ホール 参加者405人(出演80人、見学325人) 「囲碁・将棋大会」 【開催日】8月17 【開催場所】サンロード津田沼6階大会議室 参加者27人(囲碁20人 将棋7人) 「作品展」(会員作成の工芸、陶芸、書、写真、絵画の展示) 【開催日】令和6年1月16日～19日 【開催場所】市役所1階展示スペース 出品者66人、展示作品91点、延べ見学者347人 ・高齢者福祉センター芙蓉園 「第27回芙蓉園文化祭・シルバー人材センター作品展」 【開催日】10月5日～7日 【開催場所】高齢者福祉センター芙蓉園 【内容】芙蓉園サークルの成果発表・シルバー人材センター会員の作品展 【来場者数】延べ1,514人(出演者含む) ・老人福祉センターさくらの家 「第26回さくらまつり」 【開催日】11月9日～11日 【開催場所】老人福祉センターさくらの家 【内容】さくらの家サークルの成果発表 【来場者数】延べ579人(出演者含む)	日頃、高齢者が取り組んでいる文化芸術活動の成果を発表する場を提供することは、生きがいづくりに結び付くことから、左記の各事業の開催は妥当と考えることから、次年度以降も実施していく。
				生涯学習部公民館	A(80～100%)	新型コロナウイルス感染症拡大防止や真夏の熱中症対策のため中止や回数等を縮小して実施したが、寿学級を中心とし、8講座延べ3,820人が参加した。うち、寿学級は6公民館で193回実施し、延べ3,711人が参加した。	
			4.図書館資料の充実	生涯学習部図書館	A(80～100%)	・資料の購入や除籍、寄贈本の受入れによる蔵書の整備を行うことで、市民の学習に役立つ新たな資料を提供できた。 ・「予約・リクエスト制度」を通じて、市民ニーズに考慮した資料整備を行った。 ※令和6年3月31日現在 ・市内全館購入点数：16,787点、購入金額：34,406,818円 (内訳)図書16,454冊、CD・DVD299点、視覚障がい者用録音図書34点 ・寄贈本受入冊数1,853冊	引き続き、購入や寄贈本の活用により、資料の充実に努める。

習志野市文化振興計画実施状況調査表（R 5）

A：実施予定事項が概ねできた（80～100％） B：実施予定事項が一部できた（21～79％） C：実施予定事項が全くできなかった（0～20％）

令和6年度第1回習志野市文化財審議会会議資料
社会教育課 第6報告(3) その他_資料⑤

方向性	施策	小施策	取り組み内容	担当部担当課	令和5年度 実施状況 個別判定	[令和5年度] A又はBをつけた場合は、実施状況を可能な限り具体的数値も入れて記載してください。 Cをつけた場合は実施できなかった理由などを記載してください。	事業実施における課題点や 令和6年度以降の実施予定
文化に触れる機会 の提供	誰もが文化に触れ合い、 創出し合う機会の提供	(2) 地域の文化活動の推進	5.市民文化祭の実施	協働経済部協働政策課	A(80～100%)	コミュニティセンター4館全てにおいて計9日間にわたり市民文化祭を開催し、延べ4,364名が来場した。	令和6年度も引き続き市民文化祭を実施する。
				生涯学習部社会教育課	A(80～100%)	令和5年度習志野市芸術文化協会主催市民文化祭 実績 期間：令和5年11月3日(金祝)～11月23日(木祝) 参加団体数：48団体 参加人数：503人 出品点数：68点 来場者：1,762人 前年度より参加団体18団体減少(前年度66団体)により、参加人数も919人減少した(前年度1422人)。出品数や来場者数も同様に減少した。	習志野文化ホールの長期休館やJR津田沼駅南口駅前開発に伴い発表の場所の確保が課題であるが、様々な可能性を模索していく。
				生涯学習部公民館	A(80～100%)	【開催日】 9月29日～10月1日(袖ヶ浦) 10月13日～15日(菊田・新習) 10月20日～22日(中央・谷津) 10月27日～29日(実花) 【参加団体】222団体 【来場者数】9,848人	引き続き、サークル活動の成果を発表する場として市民文化祭を開催する。
			6.市庁舎等での発表機 会の提供	生涯学習部社会教育課	A(80～100%)	市役所ハミング階段にて、市内で活動する団体(習志野お琴・三絃サークル、習志野第九合唱団有志)による演奏会を実施した。 クリスマスコンサート：令和5年12月22日(金)来場者数110人 お琴・三弦：令和6年1月5日(金) 来場者数 65人	令和6年度は、実施手法を変更しながら開催する。

習志野市文化振興計画実施状況調査表（R 5）

A：実施予定事項が概ねできた（80～100％） B：実施予定事項が一部できた（21～79％） C：実施予定事項が全くできなかった（0～20％）

令和6年度第1回習志野市文化財審議会会議資料
社会教育課 第6報告(3) その他_資料⑤

方向性	施策	小施策	取り組み内容	担当部担当課	令和5年度 実施状況 個別判定	[令和5年度] A又はBをつけた場合は、実施状況を可能な限り具体的数値も入れて記載してください。 Cをつけた場合は実施できなかった理由などを記載してください。	事業実施における課題点や 令和6年度以降の実施予定
文化に触れる ゝ 機会の提供	誰もが文化に触れ合い、 創出し合う機会の提供	（3）保育付きや親子で参加できる講座の充実	7.保育付きの講座やイベントの充実	こども部こども保育課	A(80～100%)	・4こども園こどもセンターにおいて、講座やイベントが行われた。 ・4施設で計27回実施した。	・令和6年度も継続し、全てのこども園こどもセンターにおいて実施していく。
				こども部子育て支援課	A(80～100%)	事業計画に基づいて、習志野市こどもセンターで学習会1回、リフレッシュ講座を1回実施した。	事業計画に基づいて企画し、実施する。
				生涯学習部公民館	A(80～100%)	子育て中の家族が参加しやすいよう、令和5年度は「幼児家庭教育学級」(3歳児対象)や子育てリフレッシュ講座など11講座が保育サービス付きで実施され、延べ1,129人が講座に参加した。	子育て中の家族が参加しやすいよう、引き続き、保育サービスのある講座を実施する。
			8.親子で参加可能な講座やイベントの充実	こども部こども保育課	A(80～100%)	・5こども園こどもセンターにおいて、講座やイベントが行われた。 ・5施設で計71回実施した。	・令和6年度も継続して実施していく。
				こども部子育て支援課	A(80～100%)	事業計画に基づいて、下記のとおり実施した。 ・習志野市こどもセンター：11回(きらっ子こどもまつり、プレーパーク、学習会等) ・きらっ子ルームやつ：2回(学習会)	事業計画に基づいて企画し、実施する。
				生涯学習部公民館	A(80～100%)	令和5年度は1,840人の親子が工作や料理など25講座等に参加して楽しんだ。	引き続き、親子で参加して楽しめる内容の講座や行事を充実させる。

習志野市文化振興計画実施状況調査表（R 5）

A：実施予定事項が概ねできた（80～100％） B：実施予定事項が一部できた（21～79％） C：実施予定事項が全くできなかった（0～20％）

令和6年度第1回習志野市文化財審議会会議資料
社会教育課 第6報告(3) その他_資料⑤

方向性	施策	小施策	取り組み内容	担当部担当課	令和5年度 実施状況 個別判定	[令和5年度] A又はBをつけた場合は、実施状況を可能な限り具体的数値も入れて記載してください。 Cをつけた場合は実施できなかった理由などを記載してください。	事業実施における課題点や 令和6年度以降の実施予定
文化に触れる機会 の提供	誰もが文化に触れ合い、 創出し合う機会の提供	(4) 障がい者や外国人が文化芸術活動を発表・体験する機会の提供	9.障がい者が制作した作品展示や、演奏等発表の場の提供	健康福祉部健康福祉政策課	B(21～79%)	・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、令和2年度より中止していた「習志野市福祉ふれあいまつり」を、10月29日(日)に、4年ぶりに開催した。前回と同規模開催を目指していたが、他課の事業の都合により会議室が使用できず、スペースを縮小(展示コーナー中止)しての開催となった。	・令和5年12月20日(水)に実施した、令和5年度第3回習志野市福祉ふれあいまつり実行委員会において、令和6年度の開催日を令和6年10月27日(日)と決定した。
				健康福祉部障がい福祉課	A(80～100%)	・障害福祉サービス事業所「花の実園」の利用者が作成したちぎり絵の展示会を市庁舎にて開催した。 【期間】 令和6年1月22日～令和6年1月26日 ・上記展示会の他、障害福祉サービス事業所「花の実園」の利用者が作成したちぎり絵については、常設展示をしている。	障害福祉サービス事業所「花の実園」の利用者が作成したちぎり絵を、市庁舎にて作品展示を行う。
				生涯学習部社会教育課	A(80～100%)	障害福祉サービス事業所「花の実園」、「レインボー学園」の利用者が制作したちぎり絵を、市が支援する芸術文化協会行事『芸術祭』や『市展』等において展示した。	習志野文化ホールに展示されていた絵画等の美術展を実施し、そこに市が制作を依頼した花の実園のちぎり絵作品も展示し、より多くの市民の目に触れる機会を創出する。
				生涯学習部公民館	A(80～100%)	【袖ヶ浦公民館】市民文化祭開催時に県立習志野特別支援学校や学区小中学校の特別支援学級児童生との作品を展示した。 【新習志野公民館】花の実園 製作したちぎり絵を展示。ちぎり絵作品の卓上カレンダーを窓口で使用。	市民文化祭等で県立習志野特別支援学校や学区小中学校の特別支援学級児童生の作品を展示できるよう各学校へ依頼する。
			10.多文化交流ができる機会の充実	協働経済部協働政策課	A(80～100%)	令和6年度に実施を予定している青少年交流事業(派遣・受入)について、市国際交流協会との運営会議や市内学校との4校合同会議において協議を重ね、実施に向け準備した。 市国際交流協会の日本語教室部会が主催する日本語教室に対して、対面開催の再開に伴い、学習会場の提供や市国際交流協会への補助金交付をとおした財政的支援を行い、対面74組、オンライン14組の勉強の機会を提供した。(令和6年1月時点)	【令和6年度】 (受入予定) 5月28日～6月10日 (派遣予定) 7月20日～8月2日 引き続き市国際交流協会、タスカルーサ市担当及び市内学校との協議を重ね、今後の安定的な交流のため、渡航日程や交流メンバー選定など、持続可能な事業形態を検討する。

習志野市文化振興計画実施状況調査表（R 5）

A：実施予定事項が概ねできた（80～100％） B：実施予定事項が一部できた（21～79％） C：実施予定事項が全くできなかった（0～20％）

令和6年度第1回習志野市文化財審議会会議資料
社会教育課 第6報告(3) その他_資料⑤

方向性	施策	小施策	取り組み内容	担当部担当課	令和5年度 実施状況 個別判定	[令和5年度] A又はBをつけた場合は、実施状況を可能な限り具体的数値も入れて記載してください。 Cをつけた場合は実施できなかった理由などを記載してください。	事業実施における課題点や 令和6年度以降の実施予定
文化に触れる 機会 の提供	2 身近な場所で質の高い文化芸術鑑賞機会の提供	(1) 習志野文化ホール・市民ホールでの幅広い鑑賞機会の提供	11.33.文化芸術の鑑賞機会の提供	生涯学習部社会教育課	A(80～100%)	市民ホールでは、自主事業として、幅広い世代に対し芸術鑑賞の機会を提供するとともに、公益財団法人習志野文化ホールによるアウトリーチ事業として、ホール以外の場所においても芸術鑑賞する機会の充実を図った。 ・自主事業の年間実施件数及び参加人数 習志野市民ホール 26件 4,778人 アウトリーチ事業 3件 443人	公益財団法人習志野市文化スポーツ振興財団や習志野市芸術文化協会と連携し、今後地域でのアウトリーチ事業等で鑑賞機会を提供していく。 また、市民ホールで開催される自主事業の中には定員充足率が低いものもあり、PR方法を検討するなどの工夫を行う。
			12.34.アウトリーチ事業による鑑賞機会の提供支援	生涯学習部社会教育課	A(80～100%)	公益財団法人習志野文化ホールとしてのアウトリーチ活動については、月待コンサート、習志野シンフォニエッタ千葉、絵画展「美術品で顧みる習志野文化ホールinモリシアホール」などを実施した。 来場者数：月待コンサート 118人 習志野シンフォニエッタ千葉126人 美術品で顧みる習志野文化ホールinモリシアホール 199人 市民カレッジ公開講座にて、元劇団四季団員関口三千香氏によるお話とミュージカルソング(講義)を実施した。 来場者数 173人(うち、一般来場者126人) 市役所ハミング階段にて、市内で活動する団体(習志野お琴・三絃サークル、習志野第九合唱団有志)による演奏会を実施した。 クリスマスコンサート：令和5年12月22日(金)来場者数110人 お琴・三弦：令和6年1月5日(金) 来場者数 65人《再掲》	市庁舎のミニコンサートや美術展の開催、旧鴛田家住宅庭園でのコンサート等を企画・開催する等公益財団法人と連携し、積極的なアウトリーチ事業を支援していく。

習志野市文化振興計画実施状況調査表（R 5）

A：実施予定事項が概ねできた（80～100％） B：実施予定事項が一部できた（21～79％） C：実施予定事項が全くできなかった（0～20％）

令和6年度第1回習志野市文化財審議会会議資料
社会教育課 第6報告(3) その他_資料⑤

方向性	施策	小施策	取り組み内容	担当部担当課	令和5年度 実施状況 個別判定	[令和5年度] A又はBをつけた場合は、実施状況を可能な限り具体的数値も入れて記載してください。 Cをつけた場合は実施できなかった理由などを記載してください。	事業実施における課題点や 令和6年度以降の実施予定
文化に触れる ゝ 機会の提供	2 身近な場所で質の高い文化芸術鑑賞機会の提供	(2) 文化施設以外での鑑賞機会の提供	13.ICTを利用した文化資料や芸術作品の鑑賞機会の提供	生涯学習部社会教育課	A(80～100%)	・市展の受賞作品のホームページの掲載について、習志野市芸術文化協会と連携し、芸術文化協会のページにリンクを市のホームページに貼り、双方から見られるようにした。	・各情報のさらなる充実を図るとともに、認知度上昇に向けた効果的な広報を検討する。
				生涯学習部図書館	A(80～100%)	・デジタル化した習志野市内の古い写真や絵葉書をインターネット上で検索・閲覧できる「習志野市立図書館デジタルアーカイブ」を公開している。 アクセス数 15,842件 ・令和4年5月より、図書館への来館が困難な方や通常の活字による読書が困難な方も「いつでも、どこでも」読書を楽しめる「習志野市電子図書館」を提供している。 コンテンツ貸出点数11,530点	引き続き、「習志野市立図書館デジタルアーカイブ」、「習志野市電子図書館」について周知を図る。
			14.39.文化を楽しむまち歩きができるガイドマップの作成	協働経済部産業振興課	A(80～100%)	令和5年度は「ぶらっと習志野観光ガイドブック」の内容の更新及び増刷(7,000冊)を行った。 ウォーキングルートで市内スポットを繋ぐ「ならしの駅からマップ」や「ぶらっと習志野観光ガイドブック」を施設の窓口や、イベント等で配布し、本市の魅力を広く、周知することができている。	楽しくまち歩きをするガイドマップとして活用し、本市の魅力を継続して広く伝える。新たな活用方法等の検討が必要と考える。
				生涯学習部社会教育課	A(80～100%)	・習志野文化ホール長期休館に伴う変更を含んだ「習志野まちかど美術館ガイドマップ」の掲載内容・写真などの情報更新を行い、ホームページにて公開した。	・身近な文化芸術に親しんでもらえるように情報収集につとめ、更新していく。
	3 文化に関する情報の収集と提供	(1) 市ホームページ等を	15.文化関連のホームページの充実と情報の一元化	生涯学習部社会教育課	A(80～100%)	・市展の受賞作品のホームページの掲載について、習志野市芸術文化協会と連携し、芸術文化協会のページにリンクを市のホームページに貼り、双方から見られるようにした。	・各情報のさらなる充実を図るとともに、認知度上昇に向けた効果的な広報を検討する。

習志野市文化振興計画実施状況調査表（R 5）

A：実施予定事項が概ねできた（80～100％） B：実施予定事項が一部できた（21～79％） C：実施予定事項が全くできなかった（0～20％）

令和6年度第1回習志野市文化財審議会会議資料
社会教育課 第6報告(3) その他_資料⑤

方向性	施策	小施策	取り組み内容	担当部担当課	令和5年度 実施状況 個別判定	[令和5年度] A又はBをつけた場合は、実施状況を可能な限り具体的数値も入れて記載してください。 Cをつけた場合は実施できなかった理由などを記載してください。	事業実施における課題点や 令和6年度以降の実施予定
文化をつなぐ継承と育成	子どもや若い世代が文化と出会うきっかけづくり	(1) 未就学の子ども達が文化芸術によって感性を育む機会の提供	16.講座等でのアートスタートの実施	生涯学習部公民館	A(80～100%)	育児講座や、幼児家庭教育学級と並行して実施される保育等の15講座で、乳幼児の工作や人形劇・音楽の鑑賞等を実施した。	引き続き、乳幼児が文化芸術に触れるきっかけづくりを行う。
			17.ブックスタート事業の継続	こども部子育て支援課	A(80～100%)	・健康支援課が開催する4か月児健康相談の場において、ブックスタートパック(絵本とコットンバッグ)を贈呈。 ・絵本配布数:987セット	引き続き、健康支援課職員協力のもと実施する。
				生涯学習部図書館	A(80～100%)	特別にデザインした図書館カードである「誕生記念図書館カード」を、親子で読んでほしい本を紹介したブックリストと共に新生児に配布した。 誕生記念図書館カード配布枚数 1,142枚	引き続き、関係各課と連携しながら事業を進めていく。
			18.伝統文化が感じられる行事等の実施(子どもや若い世代)	こども部こども保育課	A(80～100%)	保育所・こども園・幼稚園18か所において、こどもの日、七夕、節分、ひな祭り等の行事を実施した。	令和6年度も継続して実施していく。

習志野市文化振興計画実施状況調査表（R 5）

A：実施予定事項が概ねできた（80～100％） B：実施予定事項が一部できた（21～79％） C：実施予定事項が全くできなかった（0～20％）

令和6年度第1回習志野市文化財審議会会議資料
社会教育課 第6報告(3) その他_資料⑤

方向性	施策	小施策	取り組み内容	担当部担当課	令和5年度 実施状況 個別判定	[令和5年度] A又はBをつけた場合は、実施状況を可能な限り具体的数値も入れて記載してください。 Cをつけた場合は実施できなかった理由などを記載してください。	事業実施における課題点や 令和6年度以降の実施予定
文化をつなぐ、継承と育成	子どもや若い世代が文化と出会うきっかけづくり	(2) 学校教育における文化芸術活動の推進	19.文化芸術鑑賞・制作・発表などの機会の提供	学校教育部指導課	A(80～100%)	「ならしのこども美術館」は、昭和55年の国際児童年の記念事業として第1号が創刊され、以来3年に1度ずつ出版しており、令和6年度が発刊年度となる。今年度は第16号発刊に向けて、発刊案を見直し、デジタル化を推進するため、「ならしのこども美術館」発行委員会で検討を重ねた。	令和6年度は第16号の発刊年度となる。作品集の発行部数は第15号のときの半分(600部)として、習志野市学校図書館『ナラシド』ライブラリー』にデジタル版をアップロードし、子どもたちはタブレット端末から閲覧する等、デジタル化を推進する。
				生涯学習部社会教育課	A(80～100%)	習志野文化ホールの長期休館後も「ならしの学校音楽祭」が次年度以降継続出来るように他市のホールに働きかけた。	習志野文化ホールの長期休館後も「ならしの学校音楽祭」が次年度以降継続出来るように他市のホールと調整し、支援していく。
			20.学校行事や部活動における音楽を発表する機会の充実	学校教育部指導課	A(80～100%)	・習志野市小中学校音楽会を八千代市市民会館で初めて開催した。企画段階から運営委員会と綿密に打合せを行い、多くの変更点について共通認識を図った。当日は、大きな混乱もなく実施することができた。 ・習志野市小中学校管楽器講座を当初の計画に沿って開催した。	・令和6年度の小中学校音楽会は、八千代市市民会館にて開催予定である。 ・令和7年度以降の出場学年を5年にするため、令和6年度は、5・6年合同で実施する。令和7年度より5年が出場する。中学校については変更なし。 ・習志野市小中学校管楽器講座は、年間を通して実施計画に沿って開催予定である。
			21.伝統文化が感じられる行事の実施	学校教育部指導課	A(80～100%)	会場を東部体育館に移し、保護者の制限も無しで実施した。83名の児童生徒が参加し、厳かな雰囲気の中、集中して自分の書に向き合う姿が見られた。席書大会で書かれた作品は、全て「小中書初展」として市庁舎で展示した。また、特別賞の受賞者は、同じく市庁舎にて表彰式を実施した。	令和6年度も継続して東部体育館で実施予定。

習志野市文化振興計画実施状況調査表（R 5）

A：実施予定事項が概ねできた（80～100％） B：実施予定事項が一部できた（21～79％） C：実施予定事項が全くできなかった（0～20％）

令和6年度第1回習志野市文化財審議会会議資料
社会教育課 第6報告(3) その他_資料⑤

方向性	施策	小施策	取り組み内容	担当部担当課	令和5年度 実施状況 個別判定	[令和5年度] A又はBをつけた場合は、実施状況を可能な限り具体的数値も入れて記載してください。 Cをつけた場合は実施できなかった理由などを記載してください。	事業実施における課題点や 令和6年度以降の実施予定
文化をつなぐ継承と育成	2文化を次世代につなげる環境の整備	（1）文化の世代間交流の場の提供	22.27.「伝統文化親子教室」の開催支援	生涯学習部社会教育課	A(80～100%)	広く受講生を募るため。学校教育部と連携し、市内小中学校に、児童・生徒への各教室募集チラシ配布を依頼した。 また、PTA連絡協議会、放課後子供教室においてチラシを配布し参加児童の拡大を図った。 【令和5年度伝統文化親子教室応募実績】 華道 15人 茶道 13人 琴・三弦 14人 書道 20人 着付 40人 「伝統文化お琴・三弦教室」については、ハミング階段でのコンサートを実施し、発表の場の提供を行った。 華道及び茶道教室は、市民文化祭(モリシアホール)にて展示の開催・おもてなしの体験をした。	伝統文化親子教室を周知させるため、伝統文化親子教室事業に係る生徒募集チラシについて、多くの目に触れさせることが出来るよう保護者用連絡システムを利用した電子配布等も実施していく。
			23.文化芸術団体の発表・展示の場への小中高生の参加環境支援	生涯学習部社会教育課	A(80～100%)	・習志野市美術展覧会へ習志野高等学校の美術部員を中心として作品を出品するよう促すため学校へのチラシ配布等について支援した。 ・高校生の出品人数 洋画9人 書7人	引き続き、小中高生が文化芸術団体の発表・展示の場への小中高生の参加環境を支援する。
			24.文化を通した世代間交流の場づくり	生涯学習部社会教育課	A(80～100%)	NPO法人習志野第九合唱団と連携し、市内小中高生を対象に「習志野第九演奏会」のリハーサルを無料で公開した。 12/23開催 参加人数30人(小学生24人 中学生5人)	習志野文化ホールの長期休館により習志野第九演奏会の開催場所が市外となるが、現状に沿いつつ公開リハーサルの見学等についても引き続き支援する。
		（2）文化財の保存の推進	25.文化財の収集・保存の充実	生涯学習部社会教育課	A(80～100%)	千葉県指定有形文化財 旧大沢家住宅の茅葺屋根の表層葺き替えを実施し、文化財の保存に努めたほか、文化財関係図書の購入や寄附受入により、資料の充実を図った。	谷津貝塚出土鉄製品をはじめとする文化財全般について、適切な保存処理に努めていくと共に、資料の充実を図っていく。
			26.埋蔵文化財調査の充実	生涯学習部社会教育課	A(80～100%)	遺跡の性質や範囲を確認する為の確認調査を4件実施した他、現地踏査など、開発事業計画に伴う埋蔵文化財保護を目的とした調査や協議を行った。	令和6年度以降、鷺沼地区土地区画整理事業地内において、向原南遺跡や八剣神社遺跡の発掘調査が予定されている。

習志野市文化振興計画実施状況調査表（R 5）

A：実施予定事項が概ねできた（80～100％） B：実施予定事項が一部できた（21～79％） C：実施予定事項が全くできなかった（0～20％）

令和6年度第1回習志野市文化財審議会会議資料
社会教育課 第6報告(3) その他_資料⑤

方向性	施策	小施策	取り組み内容	担当部担当課	令和5年度 実施状況 個別判定	[令和5年度] A又はBをつけた場合は、実施状況を可能な限り具体的数値も入れて記載してください。 Cをつけた場合は実施できなかった理由などを記載してください。	事業実施における課題点や 令和6年度以降の実施予定
文化をつなぐ継承と育成	3 伝統文化を担う子どもや若手の育成	（1）伝統文化を担う子ども・若者の育成	22.27.「伝統文化親子教室」の開催支援《再掲》	生涯学習部社会教育課	A(80～100%)	広く受講生を募るため。学校教育部と連携し、市内小中学校に、児童・生徒への各教室募集チラシ配布を依頼した。 また、PTA連絡協議会、放課後子供教室においてチラシを配布し参加児童の拡大を図った。 【令和5年度伝統文化親子教室応募実績】 華道 15人 茶道 13人 琴・三弦 14人 書道 20人 着付 40人 「伝統文化お琴・三弦教室」については、ハミング階段でのコンサートを実施し、発表の場の提供を行った。 華道及び茶道教室は、市民文化祭(モリシアホール)にて展示の開催・おもてなしの体験をした。	伝統文化親子教室を周知させるため、伝統文化親子教室事業に係る生徒募集チラシについて、多くの目に触れさせることが出来るよう保護者用連絡システムを利用した電子配布等も実施していく。
			28.伝統芸能の体験支援	学校教育部指導課	A(80～100%)	袖ヶ浦東小学校を中心に袖ヶ浦地区において和太鼓の演奏を積極的に行っている。 県の「伝統芸能・洋楽～ふれあい体験事業」において、袖ヶ浦東小学校が「雅楽」の鑑賞を行い、第六中学校が「洋楽」の体験活動を実施した。	国の事業等を活用し、伝統芸能の鑑賞・体験活動の推進をする和太鼓や箏は備品として所有している学校に限られるため、情報を各学校で共有し、より多くの児童生徒が体験できるようにする。
				生涯学習部公民館	A(80～100%)	華道、和太鼓、かるたや陶芸等、10講座が実施され、子どもを中心にのべ383人が参加した。	引き続き、各公民館のサークル団体の協力を得て、伝統芸能を体験できる講座等を開催する。

習志野市文化振興計画実施状況調査表（R 5）

A：実施予定事項が概ねできた（80～100％） B：実施予定事項が一部できた（21～79％） C：実施予定事項が全くできなかった（0～20％）

令和6年度第1回習志野市文化財審議会会議資料
社会教育課 第6報告(3) その他_資料⑤

方向性	施策	小施策	取り組み内容	担当部担当課	令和5年度 実施状況 個別判定	[令和5年度] A又はBをつけた場合は、実施状況を可能な限り具体的数値も入れて記載してください。 Cをつけた場合は実施できなかった理由などを記載してください。	事業実施における課題点や 令和6年度以降の実施予定
文化を活かす活用	1「音楽のまち習志野」の推進	学校・団体の活動や交流支援 （1）「音楽のまち」を支える	29.コンクール優秀団体の発表の場と鑑賞機会の提供	学校教育部指導課	A(80～100%)	・ならしの学校音楽祭を初めて市川市文化会館で開催した。出場基準を満たした小中高等学校の13校と小中学校フェスティバルバンドが参加(計15団体)した。延べ約1,500人の来場者があり、大盛況であった。 ・教育委員会職員と学校職員が協力し、企画・運営を行った。	・令和6年度は、令和7年3月2日に市川市文化会館で開催する予定である。 ・今年度、来場者の席については1F席のみとしたが、常に満席状態だったことを考慮し、2F席の開放について検討する。職員が担当する係について、それぞれの係の人数を見直し、調整する必要がある。
			30.身近なところで子ども達が目標を持つことができる環境の維持	学校教育部指導課	A(80～100%)	総合教育展は参観制限を設けずに開催して2,010人の方が来場し、児童生徒の文化活動や各学校での取り組みを伝えることができた。例年、理科部門の作品は、故障等の原因になるため触れることができず、展示方法に課題があったが、今年度、作品の動作時の映像をまとめ、会場で上映することで作品の魅力を発信することができた。	総合教育展は次年度、理科部門で選ばれた児童生徒が自ら作品紹介の映像を作成し、会場で上映することを目指す。
		（2）音楽に親しみ人と人との交流を図る環境づくり	31.地域が一体となって行うコンサートの実施	生涯学習部公民館	A(80～100%)	6公民館で合計8回開催し、4,933人の来場者が身近な場所で音楽を楽しんだ。	引き続き、公民館が学習圏会議や地域とともに連携して取り組むコンサートを開催する。
			32.地域の人材を活かした音楽会の実施	生涯学習部社会教育課 生涯学習部公民館	A(80～100%) A(80～100%)	市民カレッジ公開講座にて、元劇団四季団員関口三千香氏によるお話とミュージカルソング(講義)を実施した。 来場者数 173人(うち、一般来場者126人) 市役所ハミング階段にて、市内で活動する団体(習志野お琴・三絃サークル、習志野第九合唱団有志)による演奏会を実施した。 クリスマスコンサート: 令和5年12月22日(金)来場者数110人 お琴・三弦: 令和6年1月5日(金) 来場者数 65人《再掲》	地域の音楽家に発表機会を提供するとともに、公益財団法人 習志野文化ホールと連携し、登録制度についても検討する。 引き続き、本市で活動する文化芸術団体等が演奏を披露できる場を提供するとともに、市民が音楽に触れる機会を提供する。

習志野市文化振興計画実施状況調査表（R 5）

A：実施予定事項が概ねできた（80～100％） B：実施予定事項が一部できた（21～79％） C：実施予定事項が全くできなかった（0～20％）

令和6年度第1回習志野市文化財審議会会議資料
社会教育課 第6報告(3) その他_資料⑤

方向性	施策	小施策	取り組み内容	担当部担当課	令和5年度 実施状況 個別判定	[令和5年度] A又はBをつけた場合は、実施状況を可能な限り具体的数値も入れて記載してください。 Cをつけた場合は実施できなかった理由などを記載してください。	事業実施における課題点や 令和6年度以降の実施予定
文化を活かす活用	1「音楽のまち習志野」の推進	（3）「音楽のまち」を象徴する習志野文化ホールの充実	11.33.文化芸術の鑑賞機会の提供《再掲》	生涯学習部社会教育課	A(80～100%)	市民ホールでは、自主事業として、幅広い世代に対し芸術鑑賞の機会を提供するとともに、公益財団法人習志野文化ホールによるアウトリーチ事業として、ホール以外の場所においても芸術鑑賞する機会の充実を図った。 ・自主事業の年間実施件数及び参加人数 習志野市民ホール 26件 4,778人 アウトリーチ事業 3件 443人	公益財団法人習志野市文化スポーツ振興財団や習志野市芸術文化協会と連携し、今後地域でのアウトリーチ事業等で鑑賞機会を提供していく。 また、市民ホールで開催される自主事業の中には定員充足率が低いものもあり、PR方法を検討するなどの工夫を行う。
			12.34.アウトリーチ事業による鑑賞機会の提供支援《再掲》	生涯学習部社会教育課	A(80～100%)	公益財団法人習志野文化ホールとしてのアウトリーチ活動については、月待コンサート、習志野シンフォニエッタ千葉、絵画展「美術品で顧みる習志野文化ホールinモリシアホール」などを実施した。 来場者数：月待コンサート 118人 習志野シンフォニエッタ千葉126人 美術品で顧みる習志野文化ホールinモリシアホール 199人 市民カレッジ公開講座にて、元劇団四季団員関口三千香氏によるお話とミュージカルソング（講義）を実施した。 来場者数 173人（うち、一般来場者126人） 市役所ハミング階段にて、市内で活動する団体（習志野お琴・三絃サークル、習志野第九合唱団有志）による演奏会を実施した。 クリスマスコンサート：令和5年12月22日（金）来場者数110人 お琴・三弦：令和6年1月5日（金） 来場者数 65人《再掲》	市庁舎のミニコンサートや美術展の開催、旧鴛田家住宅庭園でのコンサート等を企画・開催する等公益財団法人と連携し、積極的なアウトリーチ事業を支援していく。
			35.音の響きを重視した誰もが利用しやすい文化ホールの再整備の検討	政策経営部総合政策課	A(80～100%)	令和4年7月に策定した「習志野文化ホール再建設基本構想」及び令和5年3月に策定した「習志野文化ホール再建設基本計画」を基に、再開発事業者と基本設計に関する協議を進めた。	・基本構想及び基本計画に基づき、より良いホールとなるよう、引き続き再開発事業者と協議を行う。 ・一方で物価高騰等による事業費の増大が懸念されていることから、事業費の圧縮にも努めるとともに、早期の開館を目指す。
				生涯学習部社会教育課	A(80～100%)	関係団体の意見を確認し、総合政策課に情報提供する等連携を図った。	誰もが利用しやすく質の高い芸術を楽しめる環境づくりに向けて、引き続き関係各課と連携を図る。

習志野市文化振興計画実施状況調査表（R 5）

A：実施予定事項が概ねできた（80～100％） B：実施予定事項が一部できた（21～79％） C：実施予定事項が全くできなかった（0～20％）

令和6年度第1回習志野市文化財審議会会議資料
社会教育課 第6報告(3) その他_資料⑤

方向性	施策	小施策	取り組み内容	担当部担当課	令和5年度 実施状況 個別判定	[令和5年度] A又はBをつけた場合は、実施状況を可能な限り具体的数値も入れて記載してください。 Cをつけた場合は実施できなかった理由などを記載してください。	事業実施における課題点や 令和6年度以降の実施予定
文化を活かす活用	2 文化的な資源の活用	(1) 文化財等文化的な資源の周知	36.教育等と連携した文化的な資源の活用	学校教育部指導課	A(80～100%)	教師と学校司書とで連携を図り、学校図書館や地域図書館を有効に活用して学習時に多くの本を利用できるように取り組んできた。また、本年度から導入した学校電子図書館と、市立図書館の電子図書館を連携させ、同じIDで利用できるようにした。他にも、地域図書館との連携について、研究校を指定して研究を始めた。	地域図書館との連携について、研究校の研究成果を発表し、市内の各校に広げていく予定。
				生涯学習部社会教育課	A(80～100%)	大学生を令和5年8月9、10日(2日間)にインターンシップで受入れ、埋蔵文化財調査室で整理作業(土器の実測及び報告書の整理)の実習指導を行った。公民館等が主催する歴史講座で、講義を行った(計3回77名参加)。	引き続きインターンシップの受入れや講師依頼などに積極的に応じる。 令和6年度以降に実施が予定されている鷺沼地区土地区画整理事業地内の発掘調査にあたり、近隣小学校等と連携し、文化財に関する理解を深めていただく機会を提供する。
				生涯学習部公民館	A(80～100%)	歴史講座等を10事業実施し、のべ406人が参加した。	今後も講座を継続する。地域の文化的な資源を活用し、幅広い市民が地域に親しみを感じられるような講座を実施する。 市民の求める講座を開くため、どのように講師を探すのが課題。
				生涯学習部図書館	A(80～100%)	習志野市及び千葉県に関する図書や行政資料を収集し、各図書館に設置した「郷土行政資料コーナー」に並べている。また、習志野市に関する資料リストを作成し図書館ホームページに公開している。	「郷土行政資料コーナー」及び「習志野市立図書館デジタルアーカイブ」について、積極的に発信し利用の促進を図る。
			37.文化財等文化的な資源の情報発信の充実	生涯学習部社会教育課	A(80～100%)	埋蔵文化財調査室では、市内出土考古資料等を常設展示しており、令和5年度は約10組の見学者が訪れた。 市役所1階展示スペースでは、定期的に展示品の入れ替えを行い、文化財資源の情報発信に努めた。 ①「第一次世界大戦時の独逸同盟軍俘虜収容所と、現代習志野に生きるドイツ文化」(令和4年12月～令和5年8月) ②「市内出土考古資料(鷺沼古墳、谷津貝塚、不三戸貝塚、屋敷貝塚)」(令和5年8月～) ③「市内出土考古資料(花咲台遺跡)」(令和6年1月～)	埋蔵文化財調査室は施設の老朽化が著しく、常設展示を行っている1階ロビーを中心に至る所で雨漏りが発生しており、更に悪化した場合は、展示の公開中止もあり得る。このような状況を踏まえ、将来予定している総合教育センター再整備における複合化にあたり、実花公民館跡施設への歴史資料の専用展示室の整備を検討中である。 市役所1階展示スペースでは、今後も年3回程度、定期的に展示品の入れ替えを行っていく。

習志野市文化振興計画実施状況調査表（R 5）

A：実施予定事項が概ねできた（80～100％） B：実施予定事項が一部できた（21～79％） C：実施予定事項が全くできなかった（0～20％）

令和6年度第1回習志野市文化財審議会会議資料
社会教育課 第6報告(3) その他_資料⑤

方向性	施策	小施策	取り組み内容	担当部担当課	令和5年度 実施状況 個別判定	[令和5年度] A又はBをつけた場合は、実施状況を可能な限り具体的数値も入れて記載してください。 Cをつけた場合は実施できなかった理由などを記載してください。	事業実施における課題点や 令和6年度以降の実施予定
文化を活かす活用	2 文化的資源の活用	（2）文化と他分野との連携による地域の活性化につなげる 仕組みづくり	38.特産品開発等の産業への文化の活用	協働経済部産業振興課	A(80～100%)	習志野市内において製造あるいは加工されたものまたは、主に市内を拠点に販売されている食品・工芸品等で、習志野市らしさを表現する製品を「習志野市ふるさと産品」として、にんじん、バラ、ドイツとの交流の歴史など、習志野市ゆかりの原材料や、エピソードをモチーフとした商品を市内外にPRするツールとして活用した。 市民まつりや農業祭などのイベント等でPRを行った。	習志野商工会議所などと連携を図り、地域の活性化につながる、習志野市らしさを表現する商品の開発等に向け検討していく。
			14.39.文化を楽しむまち歩きができるガイドマップの作成《再掲》	協働経済部産業振興課	A(80～100%)	令和5年度は「ぶらっと習志野観光ガイドブック」の内容の更新及び増刷（7,000冊）を行った。 ウォーキングルートで市内スポットを繋ぐ「ならしの駅からマップ」や「ぶらっと習志野観光ガイドブック」を施設の窓口や、イベント等で配布し、本市の魅力を広く、周知することができている。	楽しくまち歩きをするガイドマップとして活用し、本市の魅力を継続して広く伝える。新たな活用方法等の検討が必要と考える。
				生涯学習部社会教育課	A(80～100%)	市内の歴史的な場所や文化財の所在地をまとめた「習志野市歴史・文化財マップ」を、図書館や公民館で配布した他、公民館等が主催する歴史講座等でも配布した。	引き続き、図書館や公民館での配布、歴史講座等での配布を行っていく。

習志野市文化振興計画実施状況調査表（R 5）

A：実施予定事項が概ねできた（80～100％） B：実施予定事項が一部できた（21～79％） C：実施予定事項が全くできなかった（0～20％）

令和6年度第1回習志野市文化財審議会会議資料
社会教育課 第6報告(3) その他_資料⑤

方向性	施策	小施策	取り組み内容	担当部担当課	令和5年度 実施状況 個別判定	[令和5年度] A又はBをつけた場合は、実施状況を可能な限り具体的数値も入れて記載してください。 Cをつけた場合は実施できなかった理由などを記載してください。	事業実施における課題点や 令和6年度以降の実施予定
文化を活かす活用	3 公民館活動等を通したまちづくり	(1) 交流を促す文化活動の活性化	40.交流を通じた発表の場づくり	協働経済部協働政策課	A(80～100%)	ミニコンサートや各サークル活動団体の活動発表などの事業を行った。 【ミニコンサート】 参加人数144人	予定人数を超える来場者があり、令和6年度も引き続き事業を実施する。
				生涯学習部公民館	A(80～100%)	各館で開催された市民文化祭では、6公民館、233団体が実演や展示による発表を通じ交流を深めた。	引き続き各団体が作品や音楽などの発表を通じて交流を深められる場を提供していく。
			41.展示スペースの提供	協働経済部協働政策課	A(80～100%)	市民文化祭において作品発表のための展示を行ったほか、近隣小学校の児童による書初め展、地域の大学との連携による写真展や花の実園による「ちぎり絵展」を行った。 【市民文化祭】 コミュニティセンター4館全てにおいて計9日間にわたり市民文化祭を開催し、延べ4,364名が来場した。	いずれも好評であり、令和6年度も引き続き同様の事業を実施する。
				生涯学習部公民館	A(80～100%)	日常的には公民館で活動するサークル等の作品を常設、または入替制で展示している。	引き続き、展示スペースの場を提供し、発表と交流の場を創出する。

習志野市文化振興計画実施状況調査表（R 5）

A：実施予定事項が概ねできた（80～100％） B：実施予定事項が一部できた（21～79％） C：実施予定事項が全くできなかった（0～20％）

令和6年度第1回習志野市文化財審議会会議資料
社会教育課 第6報告(3) その他_資料⑤

方向性	施策	小施策	取り組み内容	担当部担当課	令和5年度 実施状況 個別判定	[令和5年度] A又はBをつけた場合は、実施状況を可能な限り具体的数値も入れて記載してください。 Cをつけた場合は実施できなかった理由などを記載してください。	事業実施における課題点や 令和6年度以降の実施予定
文化を活かす活用	3 公民館活動等を通したまちづくり	(2) 大学と連携した 公民館活動	42.地元大学と連携した 公民館事業の実施	生涯学習部公民館	A(80～100%)	3公民館において、地元大学の学生の協力を得て、科学講座を行った。 (東邦大学、千葉工業大学)	引き続き地元大学と連携し、大学生と子どもたちが交流を深められるような講座等を企画・実施する。
			43.学生の公民館活動への参加機会の提供	生涯学習部公民館	A(80～100%)	8講座において、地元高校や大学に通う学生(延べ310人)が子ども講座でのボランティア体験や小学生との交流活動の企画・運営に参加した。	引き続き、学生等が参加しやすい環境づくりや周知方法を検討し実施していく。
		(3) 社会教育を通した地域の魅力の発信	44.まちづくりや地域の魅力について話し合う場の提供	生涯学習部社会教育課	A(80～100%)	市民活動の初動支援・活動補助を行うフューチャーセンターにおいて、活発な活動が行われた。 ・市民活動導入促進講座(想像企画がっこう) 延べ4回 26人参加 ・企画発表会(きかく発表会、はじめてみたい発表会)、企画相談会(さくせん会議、はじめてみよう相談会) 延べ8回 34人参加 ・市民活動初動応援開催イベント 延べ4回 639人参加 ・クリエイターズクラブ新規登録者数 30人(登録人数240人)	フューチャーセンターが未だに何をしている場所かわかりづらいという声もあり、潜在的な利用者を発掘しきれていないという課題があるため、認知度を上げるための広報等を指定管理者とともに行っていく。 また、クリエイターズクラブの登録者数は増加しているが、その方たちをどのように次の活動に繋げていくかが課題であり、庁内での周知等を含め取り組んでいく。
				生涯学習部公民館	A(80～100%)	各公民館を拠点に設置された学習圏会議を中心に市民協働での音楽会やまち歩き等の地域イベントを企画・実施した。	引き続き、学習圏会議等、まちづくりや地域の魅力について話し合う場を提供する。
			45.地域を活性化させるイベントやまつりの実施	生涯学習部公民館	A(80～100%)	16の講座・事業に延べ5,173人が参加し、賑わいを取り戻しつつある。	引き続き、地域活性化に寄与することを目的として、公民館で行うまつりやイベントを地域と連携して開催する。

習志野市文化振興計画実施状況調査表（R 5）

A：実施予定事項が概ねできた（80～100％） B：実施予定事項が一部できた（21～79％） C：実施予定事項が全くできなかった（0～20％）

令和6年度第1回習志野市文化財審議会会議資料
社会教育課 第6報告(3) その他_資料⑤

方向性	施策	小施策	取り組み内容	担当部担当課	令和5年度 実施状況 個別判定	[令和5年度] A又はBをつけた場合は、実施状況を可能な限り具体的数値も入れて記載してください。 Cをつけた場合は実施できなかった理由などを記載してください。	事業実施における課題点や 令和6年度以降の実施予定
文化を活かす活用	3 公民館活動等を通したまちづくり	（4）地域を担う人材の活用	46.生涯学習複合施設としてのプラッツ習志野の活用	生涯学習部社会教育課	A(80～100%)	市民活動の初動支援・活動補助を行うフューチャーセンターにおいて、活発な活動が行われた。 ・市民活動導入促進講座（想像企画がっこう） 延べ4回 26人参加 ・企画発表会（きかく発表会、はじめてみたい発表会）、企画相談会（さくせん会議、はじめてみよう相談会） 延べ8回 34人参加 ・市民活動初動応援開催イベント 延べ4回 639人参加 ・クリエイターズクラブ新規登録者数 30人（登録人数240人）《再掲》 公民館と図書館の共催事業の実施、フューチャーセンターのクリエイターズクラブの方を講師に招いた公民館講座の実施、公民館活動における作品の図書館での展示など、複合施設の利点を活かした取組を行った。	指定管理者の自主事業として、複合施設の利点を活かした施設全体での一体的イベントの実施、マルシェの開催、夏まつりの開催など、様々なイベントを実施し、市民の新たな出会いや交流を促進する。
				生涯学習部公民館	A(80～100%)	プラッツ習志野に設置しているフューチャーセンターでは、日ごろから地域で活動したい市民が訪れていることから、中央公民館も活動支援のため、職員を1名配置し、フューチャーセンターとの連携を図った。	プラッツ習志野を活用し、地域で活動したい市民が生き生きと活躍できるよう、引き続き、フューチャーセンターと中央公民館が連携して共同事業を実施する。
			47.市民カレッジ卒業生が活躍できる仕組みづくり	生涯学習部社会教育課	A(80～100%)	『市民カレッジOBボランティア』に15人が新たに加わった。 登録者数：35人 習志野市文化スポーツ振興財団主催「月待コンサート」、「習志野第九演奏会」にて受付や会場案内を担当した。	履修することによりボランティア等につなげられるようなカリキュラムを継続したい。 やがて公民館等でも主体的に活動出来るよう橋渡しをしていく。